

FZ、FZ-W type

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

	警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

注意する

してはいけない

必ず守る

■吊上げ時および搬送時のご注意

警告							
<p>本製品を吊上げる場合には、必ず4か所で吊上げ、天板の水平面に対して45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2か所での吊上げや45°未満の吊上げ角度・吊上げ荷重オーバーは落下・破損の原因になります。</p> <p style="text-align: center;">吊角度と吊上げ荷重(4点吊り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>吊角度θ</th> <th>吊上げ荷重(キャビネット+搭載物)</th> </tr> <tr> <td>45°</td> <td>4.31kN まで</td> </tr> <tr> <td>90°</td> <td>8.62kN まで*</td> </tr> </table> <p>※但し、FZの搭載物質量は最大 600 kgまでとなります。</p>	吊角度θ	吊上げ荷重(キャビネット+搭載物)	45°	4.31kN まで	90°	8.62kN まで*	
吊角度θ	吊上げ荷重(キャビネット+搭載物)						
45°	4.31kN まで						
90°	8.62kN まで*						
<p>吊上げ時にアイボルトをゆるめた場合は、必ず右表の適正締付トルク値にて締直してください。天板はアイボルトで固定しているため、ゆるみにより天板が落下し、破損・けがの原因になります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> <tr> <td>アイボルト</td> <td>11.8~24.5</td> </tr> </table>		ねじの呼び	適正締付トルク N・m	アイボルト	11.8~24.5		
ねじの呼び	適正締付トルク N・m						
アイボルト	11.8~24.5						
<p> 本製品を連結した状態での吊上げ作業は行わないでください。変形・落下・けがの原因になります。</p>	<p> 本製品をワイヤーなどで荷台に固定する場合は、扉に直接荷重が掛かる方向において、荷締器具による締め過ぎにご注意ください。締め過ぎにより蝶番が破損し、扉の転倒・けがの原因になります。</p>						

■施工上のご注意

警告	
<p> アースせよ</p> <p>感電防止のため、必ず接地(アース)をしてください。接地端子は前面下のフレーム右側に M8 ボルト(本体用主接地)、扉・側板・天板に M6 ボルトがあります。右上表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。</p>	
<p> 電気工事(設置・施工)は、有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。</p> <p>電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障・感電・けがの原因になります。</p>	

⚠ 注意



本製品は屋内用です。屋外では使用できません。

アングルなどを使って設置面を上げる際は、下側からキャビネット内部に水が浸入するおそれがあります。

本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。ヘコみや歪みが発生し、強度の低下の原因になります。

アンカーボルト固定前に扉を開ける際は、前倒防止の処置をしてから扉を開けてください。扉を開けると前倒れし、けがの原因になります。

搭載可能質量を超えるものを取付けないでください。転倒・破損・けがの原因になります。

		搭載可能質量	
		耐荷重性能	耐震性能*
全体	FZ40 ●●●●	600 kg	200 kg
	FZ50 ●●●●		250 kg
	FZ60 ●●●●		300 kg
	FZ80 ●●●●		
扉部のみ		60 kg	

*耐震性能は FZ 本体に鉄製基板セット、またはラックマウントセットを使用し、弊社搭載条件により評価を行っています。



キャビネットは平行な床面に設置してください。床面が平行でないと扉がひずみ、IP 性能を保持することができなくなります。

重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。また、扉部ではできるだけ蝶番側に設置してください。転倒・破損・けがの原因になります。

側板・背面板・天板・扉は重量物です。着脱の際は、必ず 2 人以上で作業してください。けがの原因になります。

キャビネット下部の下面開口プレートは、下部出入線口カバー用で強度がありません。荷重は、基台またはフレームで直接受けるようにしてください。

所定のアンカーボルト以外にも、必要に応じ転倒防止の処置を行ってください。キャビネット奥行きが浅いものや高さの高いものは、機器の取付位置、質量などにより地震時に転倒するおそれがあります。



床面が平行でなく扉にひずみが生じた場合は、スペーサなどにより設置面が平行になるように調整してください。

調整方法

- ドアが①の方向にひずんだ時は、
 ↑①の箇所のどちらか一方にスペーサなどを入れてください。
 ドアが②の方向にひずんだ時は、
 ↑②の箇所のどちらか一方にスペーサなどを入れてください。

【オプションパーツのご案内】

スペーサには、オプションの「基台用スペーサ」をご利用ください。

名称	品名記号	摘要
基台用 スペーサ	BP17-10SU	U 字(アンカーボルト用、t1.0)
	BP17-1030S	50mm 角(t3.0)

使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損、落下などの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

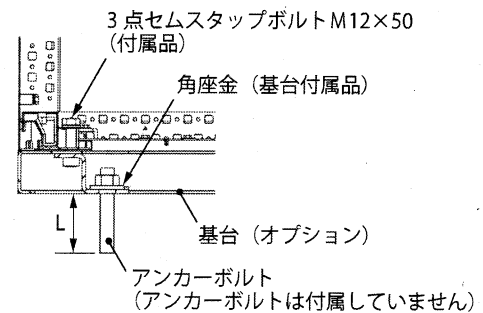
ねじの呼び	適正締付トルク N・m*
M4	1.5 ~ 2.5
M5	1.8 ~ 3.0
M6	3.0 ~ 4.5
M8	8.0 ~ 14.0
アイボルト	11.8 ~ 24.5

*但し、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

本製品は、オプションの基台【FCX-ZZA】を使用して設置してください。基台への取付けは 3 点セムスタップボルト M12×50 (付属品) を使用し、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M12	33.6 ~ 50.4

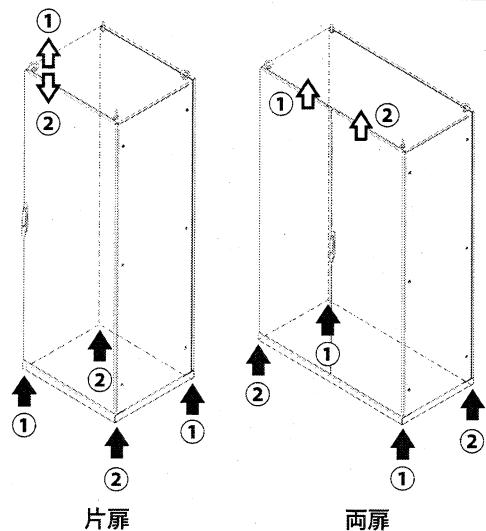
基台は、耐震対策のため、必ず基台付属の角座金で補強し、アンカーボルトで固定してください。



アンカーボルトは、キャビネット寸法および搭載品の質量、位置などを考慮の上、選定してください。

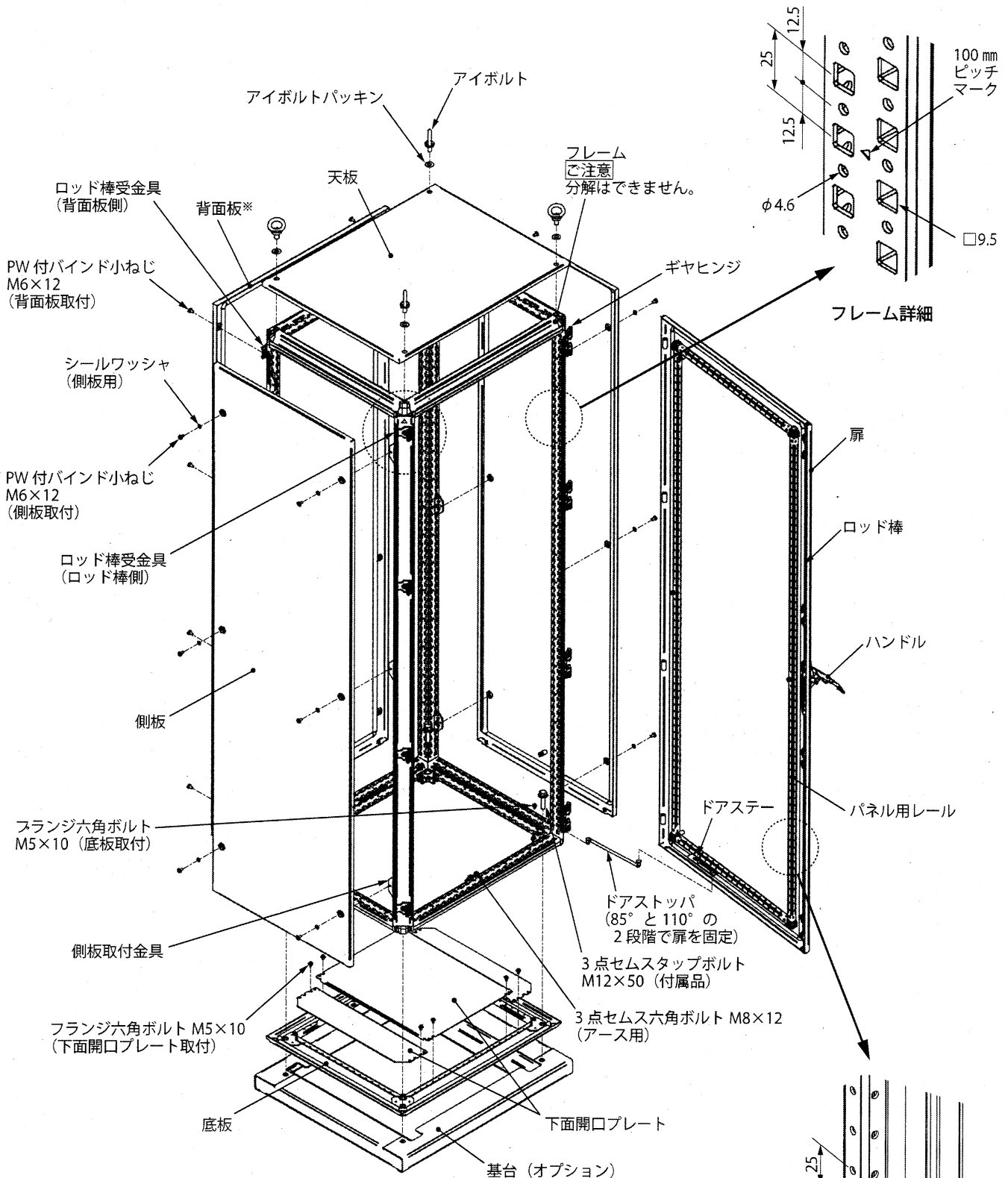
アンカーボルト径	最小埋込深さL*	短期許容引抜荷重*
M12	60mm	6.7kN
M16	70mm	9.2kN

*一般的な床スラブ上面でのあと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)使用時における参考値です。設置場所、アンカーボルト種類によって値は大きく変わります。

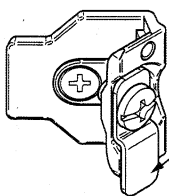


■各部の名称・仕様

●片扉



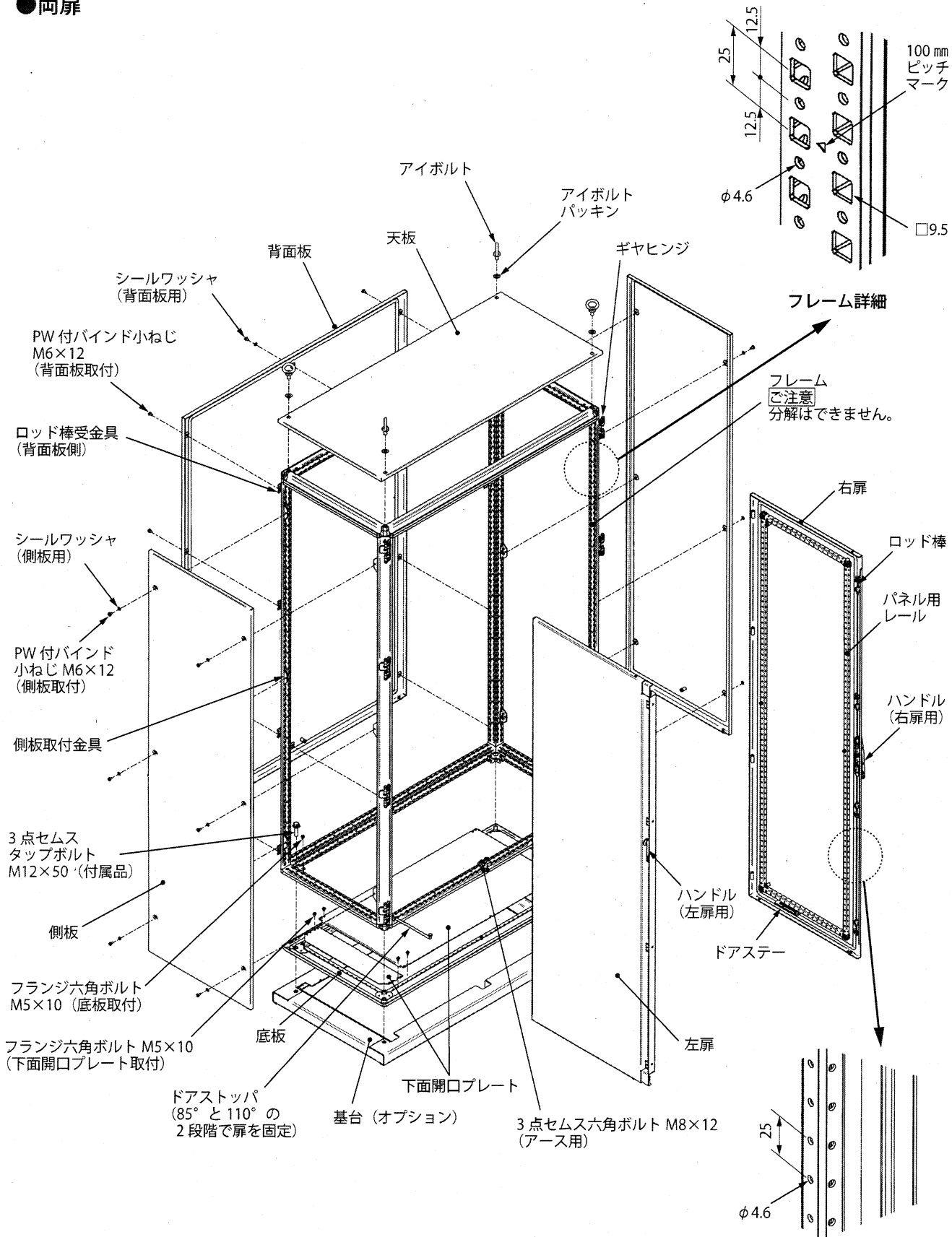
※前後扉タイプ FZ-W は※の背面板が扉に組替えになります。



ロッド棒誘い込み金具
ご注意
高さ 2300 の機種のみ、一番上のロッド棒金具に、誘い込み金具が付いています。(片扉機種限定)

ロッド棒受金具詳細

●両扉



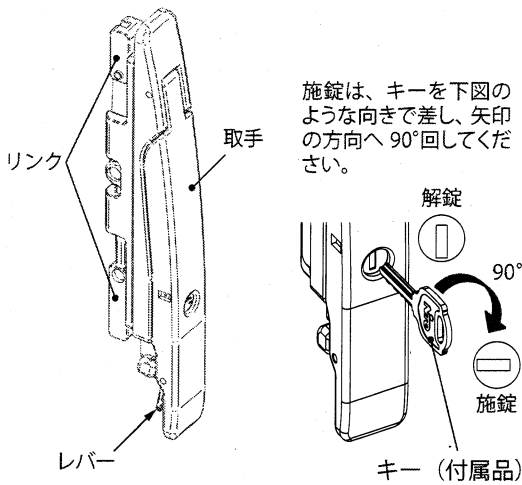
●付属品

名称	数量
3点セムスタップボルトM12×50	4コ
アースラベル	10枚
キーセット(キーNo.200)	1セット(キー2コ)
取扱説明書(本紙)	1部

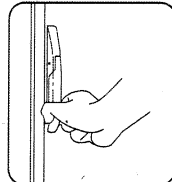
■扉について

●ハンドルの操作方法 (片扉・右扉用)

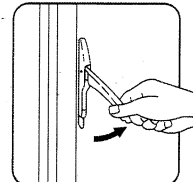
【ハンドル詳細】



【開け方】

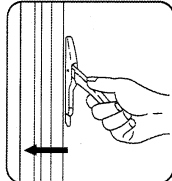


指先でハンドル下側内部のレバーを引きラッチを外してください。

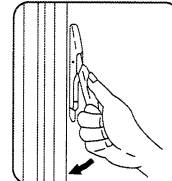


そのまま引き、取手を持って扉を開けてください。

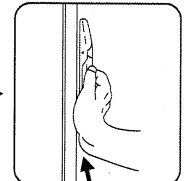
【閉め方】



取手を持ち、取手が完全に上に上がった状態のまま扉を閉めていきます。



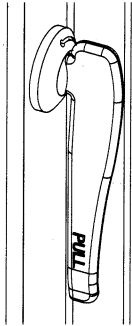
扉を押さえながら取手を閉め、ロッド棒がロッド棒受金具に掛かるのを確かめます。



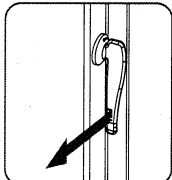
引掛け状態になったら手のひら全体で取手を押し、扉を閉めてください。

●ハンドルの操作方法 (左扉用)

【ハンドル詳細】

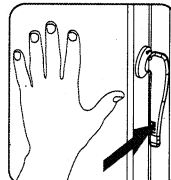


【開け方】



取手を手前に引き、扉を開けてください。

【閉め方】



扉を押さえながら取手を押し、確実に閉めてください。

●扉の取外方法

1. 扉の開角度を約45°に保ち、ドアストップをフレーム側から外します。次にドアステー側からも外します。(図1)
2. 扉の開角度を90°以上開いた状態で、ギヤヒンジのねじ部を図3の矢印の方向にドライバーで回し、蝶番ピンのはめ合いを外します。
 ①下部、②上部、③中央下部、④中央上部の順で行ってください。(図2)
3. 扉の開角度を約90°に保持したまま、扉をギヤヒンジから外します。

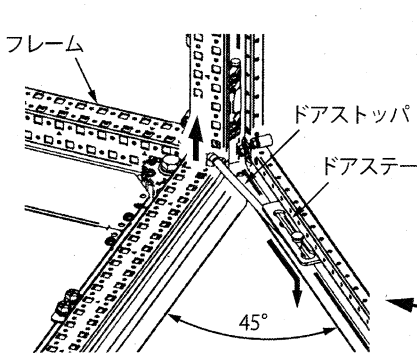


図1

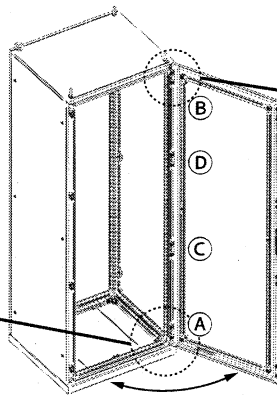


図2

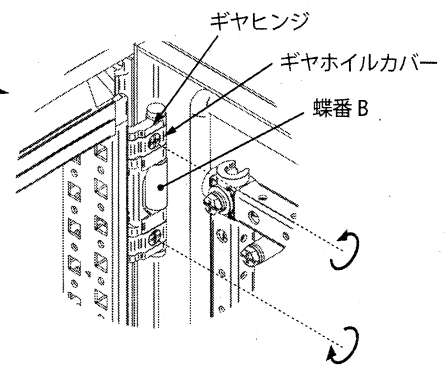


図3 取外す場合

●扉の取付方法

「●扉の取外方法」の逆手順で取付けてください。

ギヤヒンジは図2の①→②→③→④の順序で、ねじ部を図3の矢印の逆方向に回します。

扉を取付けた後に、扉が外れないか、がたつきがないか、ロッド棒がロッド棒受金具に掛かるかを確認してください。

⚠ 注意



扉の取外し・取付けの際は、扉側の蝶番とギヤヒンジの軸が合わない状態で、無理にねじを回さないでください。ギヤヒンジが破損するおそれがあります。

ギヤホイールカバーを外して扉の調整をしないでください。一度外すとギヤホイールカバーが変形し、ギヤホイールを保持できなくなります。ギヤヒンジに不具合が発生した場合は、ギヤヒンジ全体が交換対象になります。

●逆開き扉への変更方法 (片扉)

1. 扉を外します。(「●扉の取外方法」を参照)
2. フレーム(扉面側)に取付いているギヤヒンジとロッド棒受金具(ロッド棒側)を左右4か所入替えます。(図4)
3. ハンドルの取手を開いたまま、扉の裏側からTPねじM5×5を外します。
4. ハンドルを扉から外し、逆向きにして取付けます。ロッド棒にハンドルのリンクが掛かり、取手の動作に連動してロッド棒が上下することを確認してください。
5. ドアステーおよびクッションゴム2個を上下対称位置に付替えます。ドアステーの向きに注意してください。
6. 扉を取付けます。(「●扉の取付方法」を参照)

【ご注意】 高さ2300mmの機種の場合、一番上のロッド棒金具に付いている誘込金具(P. 4, 5「■各部の名称・仕様」を参照)を下向きに付替えてください。

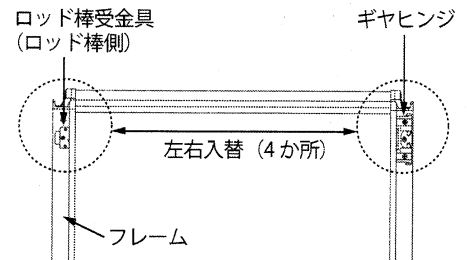
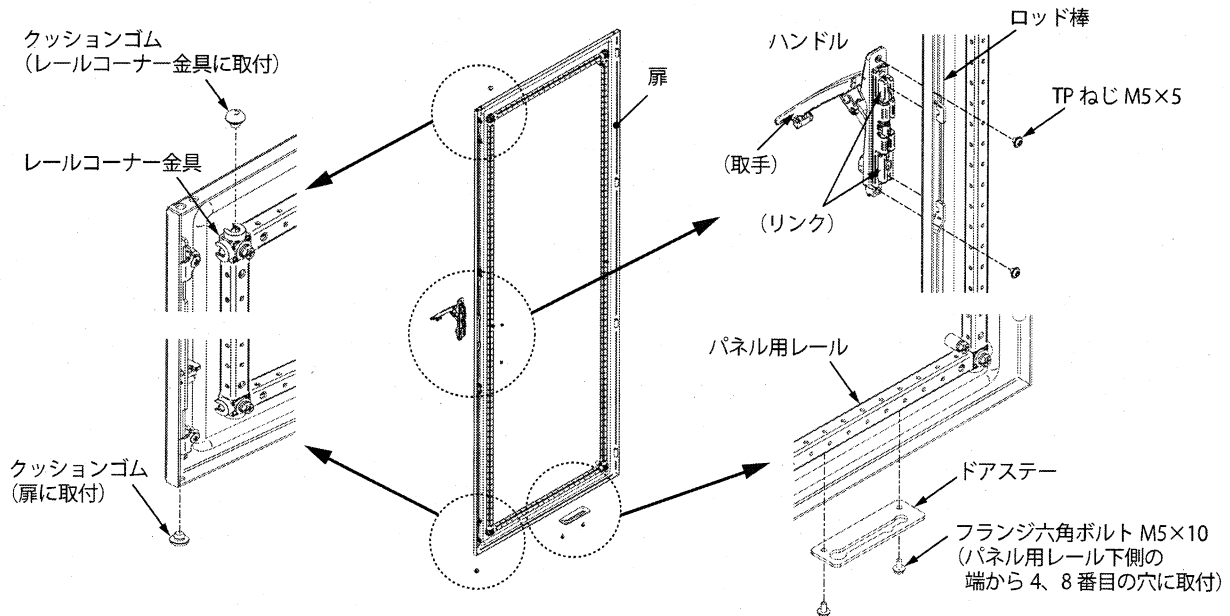


図 4



●先開き扉への変更方法（両扉）

1. 右扉を変更してください。（「P. 7」●逆開き扉への変更方法 手順1、3～5」を参照）
2. 左扉を外します。左扉の部品組替はありません。（P. 7「●扉の取外方法」を参照）
3. ドアステーおよびクッションゴム2個を上下対称位置に付替えます。（図8、10）
4. 連動フックとロッド棒を固定しているなべ小ねじM4×16とスペーサを外し（図9、10）、上部連動フックは『上』刻印が付いている位置で固定し、下部連動フックは『下』刻印が付いている位置で固定し直してください。（図11）
5. 上部連動フックとロッド棒を固定する時は、ロッド棒の上から2つ目の穴で固定し（図9）、下部連動フックとロッド棒を固定する時は、ロッド棒の下から1つ目の穴で固定してください（図10）。
6. 上部および下部連動フック受金具を右へ穴3つ分ずらした位置に付替えてください。（図12）
7. 右扉を左側に、左扉を右側にそれぞれ取付けてください。

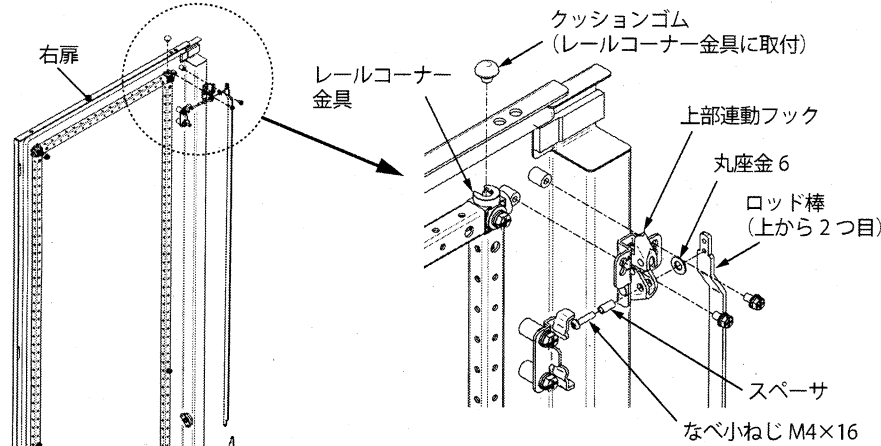


図9 上部

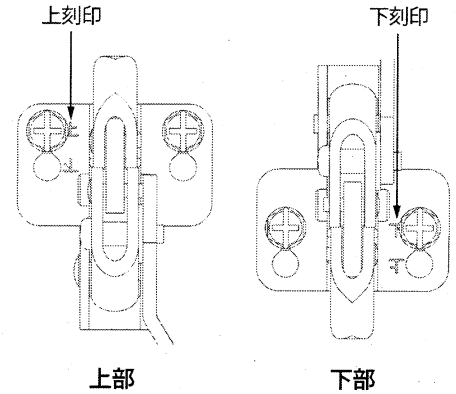


図11 連動フック詳細

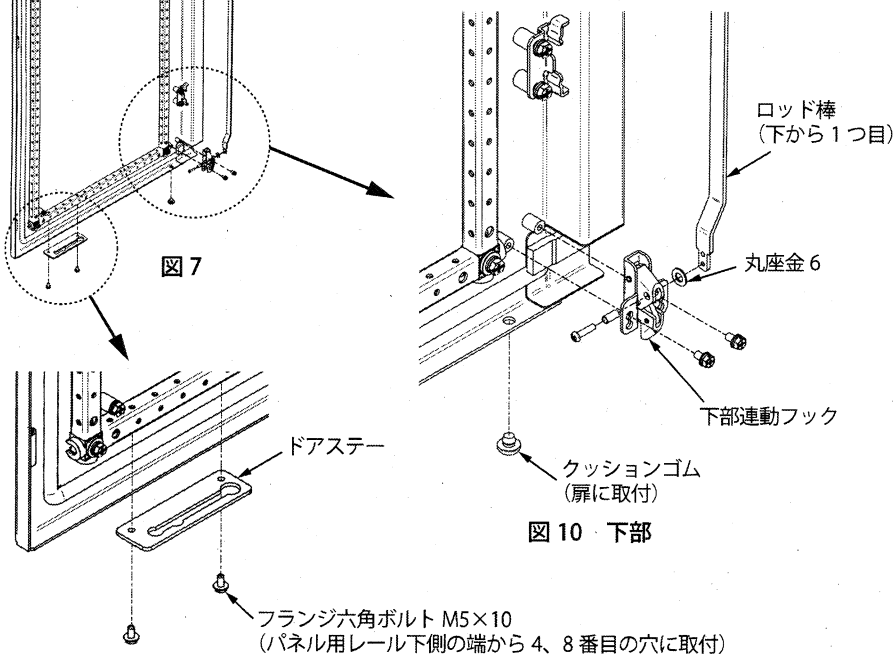


図10 下部

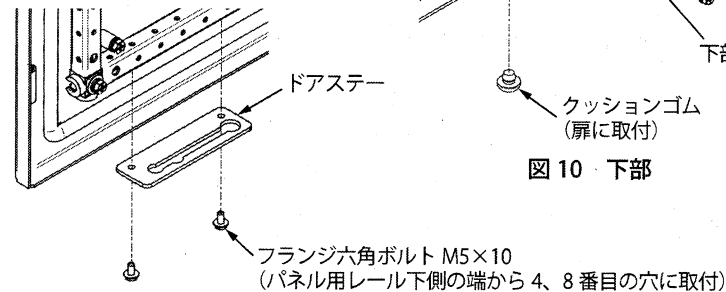


図8 ドアステー部詳細

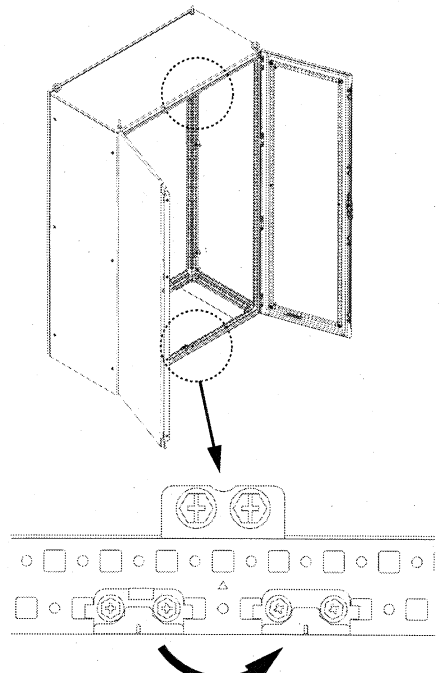


図12 連動フック受金具

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。

TEL (0561) 64-0152

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- ・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはありません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2019年4月
B917111922
SK-069G

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全のための注意事項

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

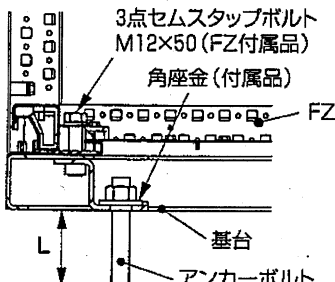
危険	・取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
注意	・取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上の注意

危険

- ・耐震対策のため、必ず付属の角座金で補強し、アンカーボルトによって固定してください。
- ・アンカーボルトはキャビネット寸法及び搭載品の質量・位置等を考慮の上、選定してください。
- ・キャビネット奥行きが浅いものや高さの高いものは、機器の取付位置、質量等により地震時に転倒する恐れがあります。所定のアンカーボルト以外にも必要に応じ転倒防止の処置を行ってください。



アンカーボルト径	最小埋込深さ L	短期許容引抜荷重※
M12	60mm	6.57kN (670kgf)
M16	70mm	9.02kN (920kgf)

※一般的な床スラブ上面でのあと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)使用時における参考値。設置場所、アンカーボルト種類によって値は大きく変わります。

注意

- ・オプションは長さ、面積、重量など様々です。組立の前には十分な作業空間を確保しておいてください。
- ・オプションは金属素材です。取扱いによってははねじれ、たわみ、変形を招く他、けがにいたる要因ともなりかねませんので十分に注意してください。
- ・必ずキャビネットの種類、サイズに適合した製品を取付けてください。
- ・基台は重量物です。けが防止のため、一人で作業は行わないでください。
- ・必ず設置場所床面の水平レベル出しを行ってください。キャビネット扉の開閉等に支障をきたす恐れがあります。
- ・アングル等を使って設置面を上げる際は、下側からキャビネット内部に水が浸入する恐れがあります。

■使用上の注意

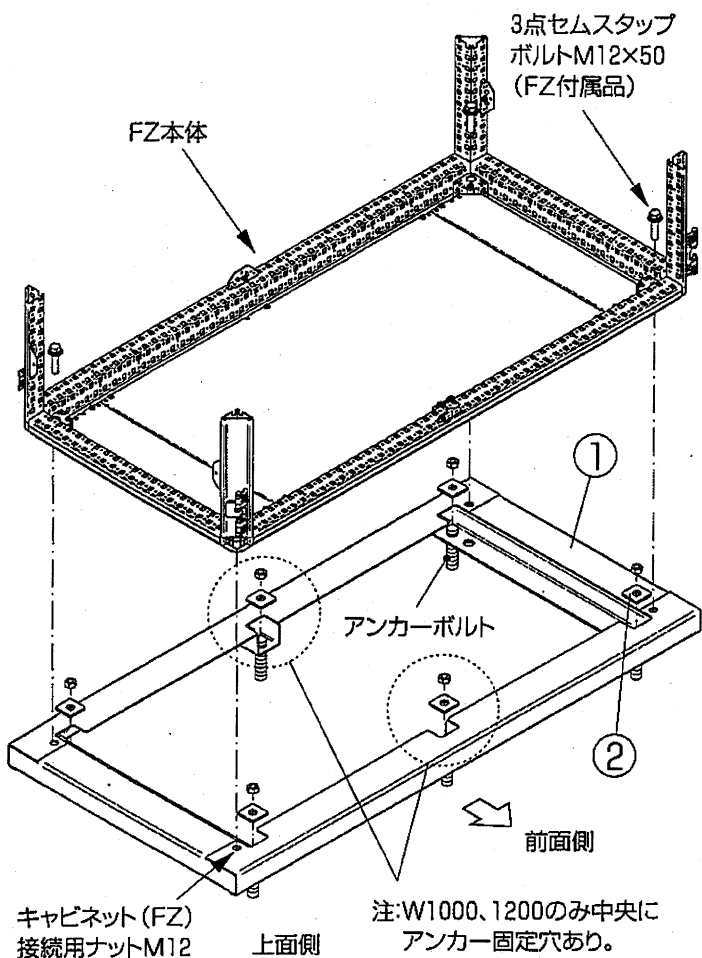
危険

- ・本製品はFZ専用基台です。使用目的以外に使わないでください。

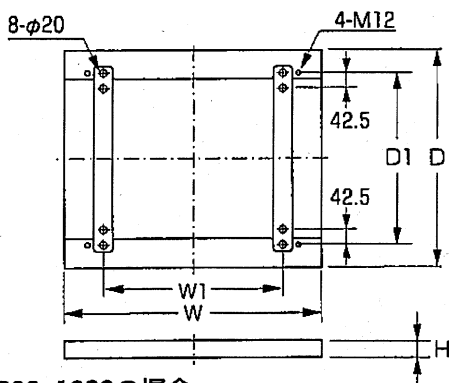
注意

- ・強い衝撃を与えないでください。衝撃によりへこみや歪みが発生し、強度の劣化につながります。
- ・本製品は屋内専用です。屋外には使用しないでください。
- ・高温、高湿、腐食性ガスなどの雰囲気での使用は避けてください。錆や腐食が発生します。

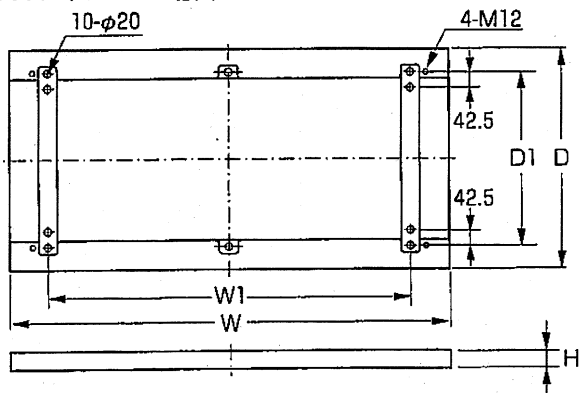
■仕様・施工方法



・W600、700、800の場合

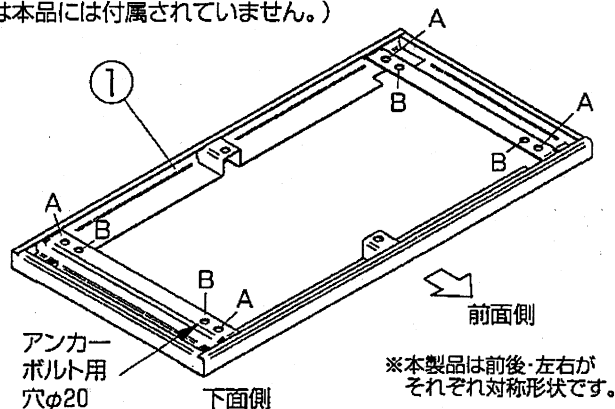


・W1000、1200の場合



番号	部品名	材質	板厚	数量
①	基台	鋼板・塗装	t3.2/4.5	1
番号	付属品名	姿図	数量	
			FZ□□-6□□ FZ□□-7□□ FZ□□-8□□	FZ□□-10□□ FZ□□-12□□
②	角座金 40×40×t4.5		4	6

- ・耐震対策のため、必ず付属の角座金②で補強し、アンカーボルトによって固定してください。
- ・アンカーボルトの取付にはA又はBのφ20穴を4ヶ所(W1000、1200の場合は6ヶ所)使用してください。奥行きが浅い製品においては外側のA穴をおすすめします。
- ・本製品とFZとの接続はFZ付属品の3点セムスタップボルトM12×50を使用してM12ナット部で4ヶ所接続してください。(ボルトは本品には付属されていません。)



品名記号	寸法(mm)					質量(kg)	適用機種
	D	D1	W	W1	H		
FCX-Z40605ZA	400	275	600	390	50	10	FZ40-6□□
FCX-Z40610ZA	400	275	600	390	100	13	FZ40-6□□
FCX-Z40705ZA	400	275	700	490	50	10	FZ40-7□□
FCX-Z40710ZA	400	275	700	490	100	14	FZ40-7□□
FCX-Z40805ZA	400	275	800	590	50	11	FZ40-8□□
FCX-Z40810ZA	400	275	800	590	100	15	FZ40-8□□
FCX-Z401005ZA	400	275	1000	790	50	13	FZ40-10□□
FCX-Z401010ZA	400	275	1000	790	100	18	FZ40-10□□
FCX-Z401205ZA	400	275	1200	990	50	15	FZ40-12□□
FCX-Z401210ZA	400	275	1200	990	100	20	FZ40-12□□
FCX-Z50605ZA	500	375	600	390	50	11	FZ50-6□□
FCX-Z60610ZA	500	375	600	390	100	15	FZ50-6□□
FCX-Z50705ZA	500	375	700	490	50	12	FZ50-7□□
FCX-Z50710ZA	500	375	700	490	100	16	FZ50-7□□
FCX-Z50805ZA	500	375	800	590	50	13	FZ50-8□□
FCX-Z50810ZA	500	375	800	590	100	17	FZ50-8□□
FCX-Z501005ZA	500	375	1000	790	50	15	FZ50-10□□
FCX-Z501010ZA	500	375	1000	790	100	20	FZ50-10□□
FCX-Z501205ZA	500	375	1200	990	50	16	FZ50-12□□
FCX-Z501210ZA	500	375	1200	990	100	22	FZ50-12□□
FCX-Z60605ZA	600	475	600	390	50	13	FZ60-6□□
FCX-Z60610ZA	600	475	600	390	100	18	FZ60-6□□
FCX-Z60705ZA	600	475	700	490	50	13	FZ60-7□□
FCX-Z60710ZA	600	475	700	490	100	19	FZ60-7□□
FCX-Z60805ZA	600	475	800	590	50	14	FZ60-8□□
FCX-Z60810ZA	600	475	800	590	100	20	FZ60-8□□
FCX-Z601005ZA	600	475	1000	790	50	16	FZ60-10□□
FCX-Z601010ZA	600	475	1000	790	100	22	FZ60-10□□
FCX-Z601205ZA	600	475	1200	990	50	18	FZ60-12□□
FCX-Z601210ZA	600	475	1200	990	100	24	FZ60-12□□
FCX-Z80605ZA	800	675	600	390	50	14	FZ80-6□□
FCX-Z80610ZA	800	675	600	390	100	22	FZ80-6□□
FCX-Z80705ZA	800	675	700	490	50	15	FZ80-7□□
FCX-Z80710ZA	800	675	700	490	100	23	FZ80-7□□
FCX-Z80805ZA	800	675	800	590	50	16	FZ80-8□□
FCX-Z80810ZA	800	675	800	590	100	24	FZ80-8□□
FCX-Z801005ZA	800	675	1000	790	50	20	FZ80-10□□
FCX-Z801010ZA	800	675	1000	790	100	26	FZ80-10□□
FCX-Z801205ZA	800	675	1200	990	50	21	FZ80-12□□
FCX-Z801210ZA	800	675	1200	990	100	28	FZ80-12□□

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社技術相談室にお問い合わせください。この取扱説明書の内容は2007年6月現在のものです。

NITTO 日東工業株式会社
©NITTO KOGYO CORPORATION

技術相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
TEL (0561) 64-0152
http://www.nitto.co.jp

〈再生紙を使用しています〉

SK-288B B917901920



FZシリーズ
オプション

鉄製基板セット FCX-ZT 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全のための注意事項

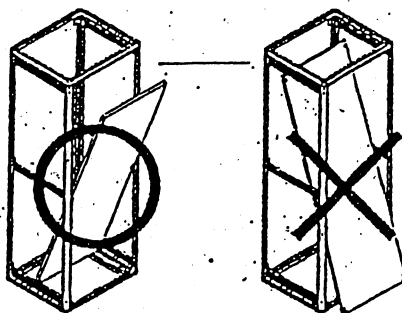
施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

危険

- ・オプションは使用目的にかなった使い方をしてください。
- ・鉄製基板を取付ける場合は下部を先に入れてください。また取外す場合は上部を先に出してください。鉄製基板の下部が手前になりますと鉄製基板が飛び出してくることがあり、非常に危険です。
- ・組立作業はキャビネットの転倒防止の処置をしてから行ってください。



■施工上の注意

注意

- ・オプションは長さ、面積、重量など様々です。組立の前には十分な作業空間を確保しておいてください。
- ・オプションは金属素材です。取扱いによってはねじれ、たわみ、変形を招く他、けがにいたる要因ともなりかねませんので十分に注意してください。
- ・各種取付ねじは右表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、落下・破損の原因となります。また締付け過ぎの場合は、ねじやタップを破損する恐れがあります。
- ・必ずキャビネットの種類、サイズに適合した製品を取付けてください。
- ・鉄製基板は重量物です。けが防止のため、一人で作業は行わないでください。

ねじの呼び	適正締付トルク※1
M5	176~294N・cm (18~30kgf・cm)
M8	784~1372N・cm (80~140kgf・cm)

※1 但し、Sタイトねじにおいて締付け時の初期値はこの限りではありません。

■使用上の注意

注意

- ・オプションの搭載可能質量を超える物を取付けしないでください。また搭載するキャビネットの搭載可能質量も考慮してください。転倒、性能の劣化、破損などの恐れがあります。
- ・重量物はキャビネットの低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。
- ・本製品に乗りたり、手をついたり、足をかけたりしないでください。破損、転倒、けがの原因になります。

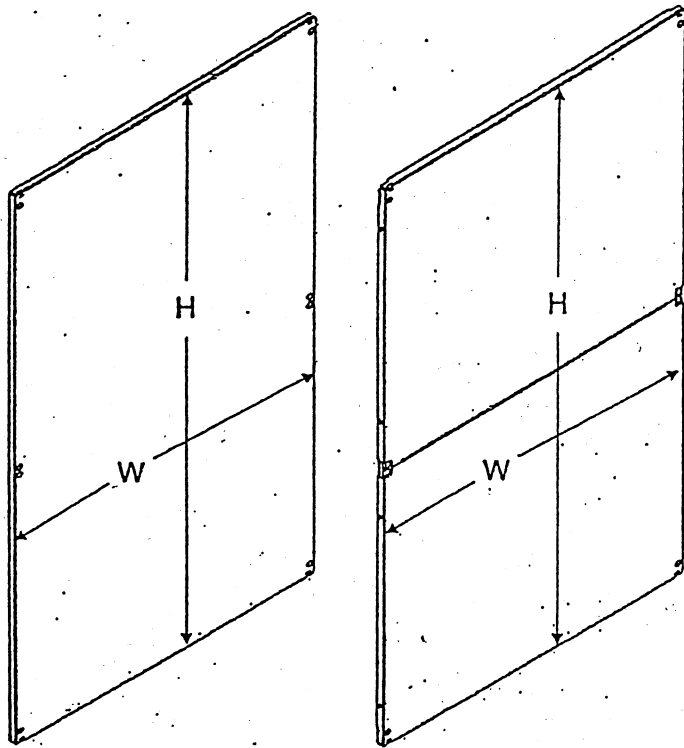
※3 静荷重での性能です。

鉄製基板に重量物を搭載し輸送すると、鉄製基板取付ボルトのゆるみ、脱落等の恐れがありますので、別途補強対策を施してください。

	搭載可能質量	
	耐荷重性能	耐震性能
FZ本体	※2	※2
鉄製基板セット	300kg※3	—

※2 FZシリーズ本体に備え付けの取扱説明書を参照してください。

圖仕 様

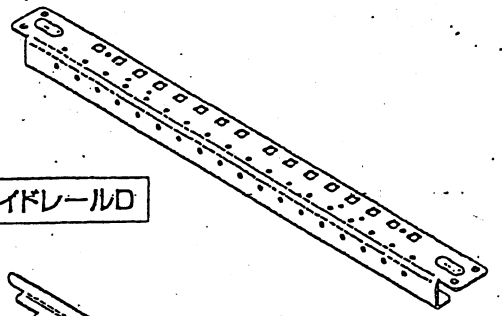


タイプ I (1枚板)
基板面積 < 1.7㎡

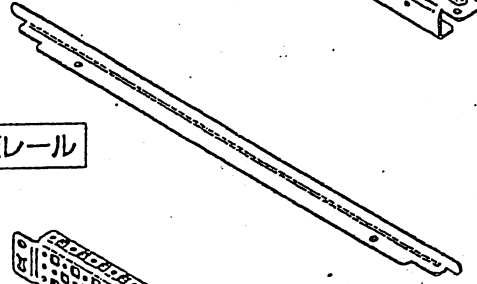
タイプ II (2枚板)
基板面積 ≥ 1.7㎡

① 鉄製基板

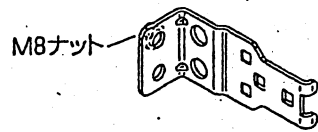
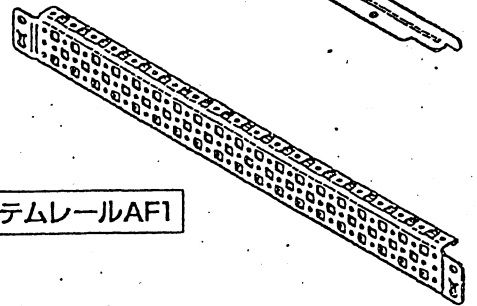
② スライドレールD



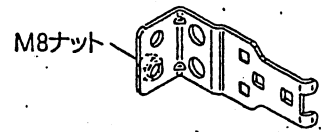
③ 基板レール



④ システムレールAF1



⑤ 基板金具 (R)



⑥ 基板金具 (L)

番号	部品名	材質	板厚	数量
①	鉄製基板	鋼板・塗装	t2.3	1
②	スライドレールD	溶融亜鉛めっき鋼板	t2.3	2
③	基板レール	溶融亜鉛めっき鋼板	t2.3	2
④	システムレールAF1	溶融亜鉛めっき鋼板	t2.3	6
⑤	基板金具 (R)	鋼板・クロメートめっき	t3.2	3
⑥	基板金具 (L)	鋼板・クロメートめっき	t3.2	3

番号	付属品名	姿 図	数量
⑦	鉄ベースガイド		2
⑧	フランジ六角ボルト (Sタイプ) M5×10 ※注意		36
⑨	3点セムス六角ボルト M8×18		6

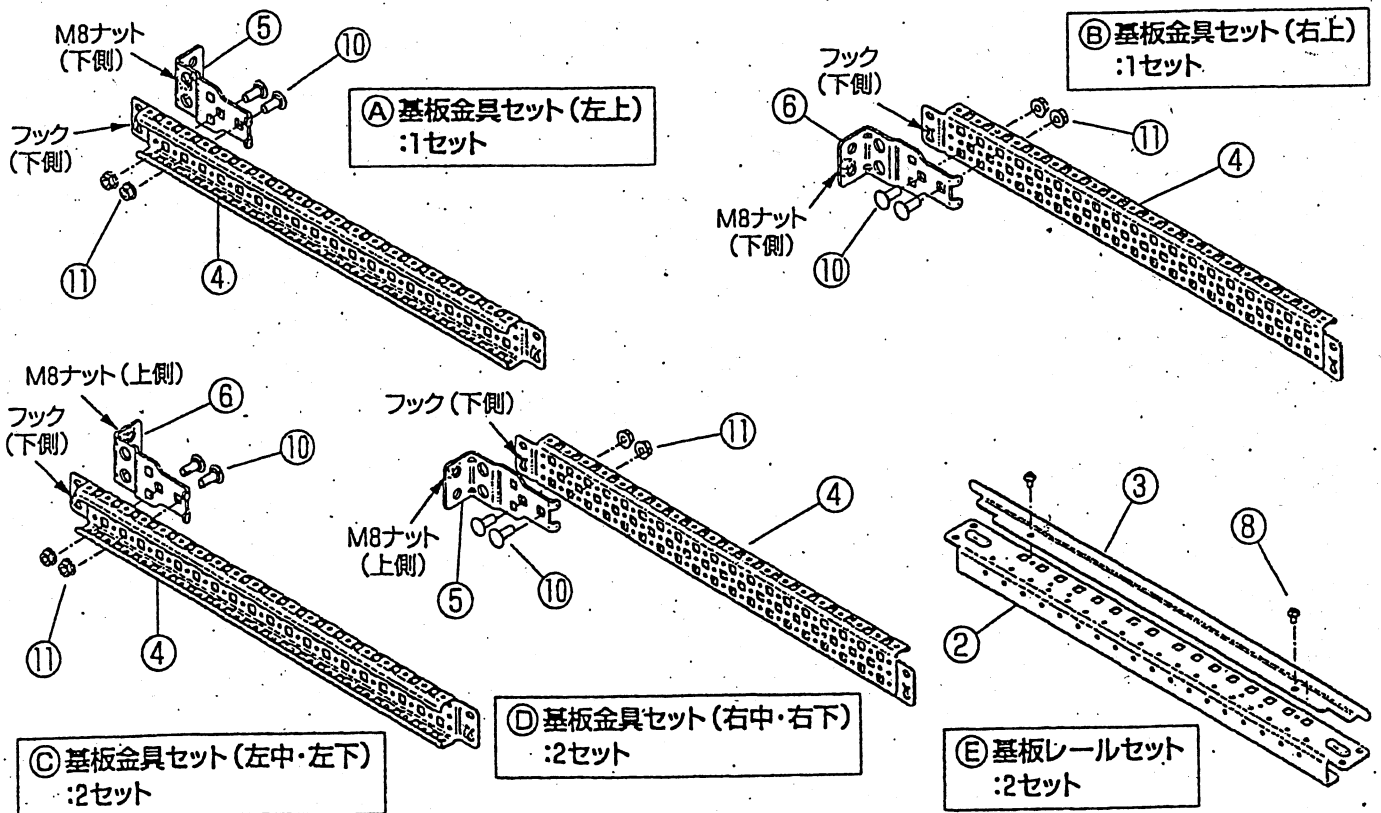
番号	付属品名	姿 図	数量
⑩	角根丸頭ボルトM8×20		12
⑪	フランジナットM8		12
⑫	歯付座金8		1

注意 ステンレス製のFZシリーズにはご使用しないでください。
ステンレス製のFZシリーズに付属の+フランジ六角ボルトM5×10 SUSをご使用ください。

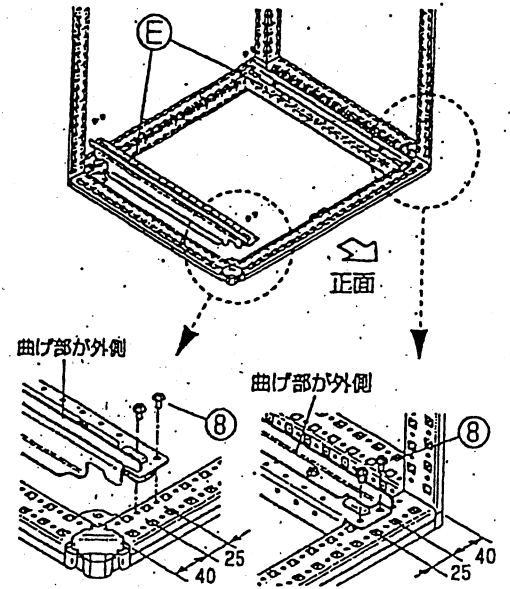
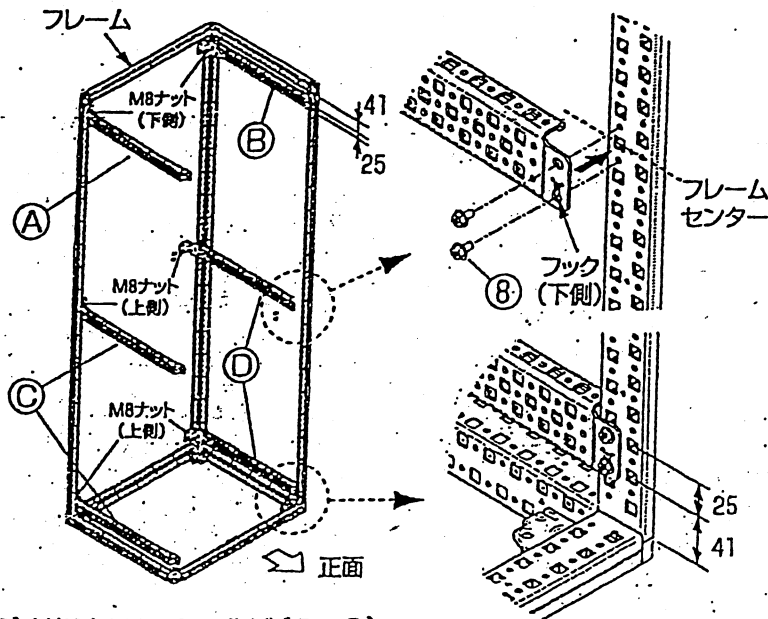
番号	タイプ	鉄製基板寸法(mm)		セット質量(kg)	適用機種
		W	H		
FCX-Z40616T	I	485	1455	21	(FZ) 40-616
FCX-Z40619T	I		1755	24	(FZ) 40-619
FCX-Z40621T	I		1955	26	(FZ) 40-621
FCX-Z40623T	I		2155	28	(FZ) 40-623
FCX-Z40716T	I	585	1455	23	(FZ) 40-716
FCX-Z40719T	I		1755	27	(FZ) 40-719
FCX-Z40721T	I		1955	29	(FZ) 40-721
FCX-Z40723T	I		2155	32	(FZ) 40-723
FCX-Z40816T	I	685	1455	26	(FZ) 40-816
FCX-Z40819T	I		1755	30	(FZ) 40-819
FCX-Z40821T	I		1955	33	(FZ) 40-821
FCX-Z40823T	I		2155	36	(FZ) 40-823
FCX-Z401016T	I	885	1455	32	(FZ) 40-1016
FCX-Z401019T	I		1755	37	(FZ) 40-1019
FCX-Z401021T	II		1955	48	(FZ) 40-1021
FCX-Z401023T	II		2155	53	(FZ) 40-1023
FCX-Z401216T	I	1085	1455	37	(FZ) 40-1216
FCX-Z401219T	II		1755	49	(FZ) 40-1219
FCX-Z401221T	II		1955	55	(FZ) 40-1221
FCX-Z401223T	II		2155	61	(FZ) 40-1223
FCX-Z50616T	I	485	1455	22	(FZ) 50-616
FCX-Z50619T	I		1755	25	(FZ) 50-619
FCX-Z50621T	I		1955	27	(FZ) 50-621
FCX-Z50623T	I		2155	29	(FZ) 50-623
FCX-Z50716T	I	585	1455	25	(FZ) 50-716
FCX-Z50719T	I		1755	28	(FZ) 50-719
FCX-Z50721T	I		1955	31	(FZ) 50-721
FCX-Z50723T	I		2155	33	(FZ) 50-723
FCX-Z50816T	I	685	1455	27	(FZ) 50-816
FCX-Z50819T	I		1755	31	(FZ) 50-819
FCX-Z50821T	I		1955	34	(FZ) 50-821
FCX-Z50823T	I		2155	37	(FZ) 50-823
FCX-Z501016T	I	885	1455	33	(FZ) 50-1016
FCX-Z501019T	I		1755	39	(FZ) 50-1019
FCX-Z501021T	II		1955	49	(FZ) 50-1021
FCX-Z501023T	II		2155	55	(FZ) 50-1023
FCX-Z501216T	I	1085	1455	39	(FZ) 50-1216
FCX-Z501219T	II		1755	50	(FZ) 50-1219
FCX-Z501221T	II		1955	57	(FZ) 50-1221
FCX-Z501223T	II		2155	63	(FZ) 50-1223

番号	タイプ	鉄製基板寸法(mm)		セット質量(kg)	適用機種
		W	H		
FCX-Z60616T	I	485	1455	23	(FZ) 60-616
FCX-Z60619T	I		1755	26	(FZ) 60-619
FCX-Z60621T	I		1955	29	(FZ) 60-621
FCX-Z60623T	I		2155	31	(FZ) 60-623
FCX-Z60716T	I	585	1455	26	(FZ) 60-716
FCX-Z60719T	I		1755	30	(FZ) 60-719
FCX-Z60721T	I		1955	32	(FZ) 60-721
FCX-Z60723T	I		2155	35	(FZ) 60-723
FCX-Z60816T	I	685	1455	29	(FZ) 60-816
FCX-Z60819T	I		1755	33	(FZ) 60-819
FCX-Z60821T	I		1955	36	(FZ) 60-821
FCX-Z60823T	I		2155	38	(FZ) 60-823
FCX-Z601016T	I	885	1455	35	(FZ) 60-1016
FCX-Z601019T	I		1755	40	(FZ) 60-1019
FCX-Z601021T	II		1955	51	(FZ) 60-1021
FCX-Z601023T	II		2155	56	(FZ) 60-1023
FCX-Z601216T	I	1085	1455	40	(FZ) 60-1216
FCX-Z601219T	II		1755	52	(FZ) 60-1219
FCX-Z601221T	II		1955	58	(FZ) 60-1221
FCX-Z601223T	II		2155	64	(FZ) 60-1223
FCX-Z80616T	I	485	1455	26	(FZ) 80-616
FCX-Z80619T	I		1755	30	(FZ) 80-619
FCX-Z80621T	I		1955	32	(FZ) 80-621
FCX-Z80623T	I		2155	34	(FZ) 80-623
FCX-Z80716T	I	585	1455	29	(FZ) 80-716
FCX-Z80719T	I		1755	33	(FZ) 80-719
FCX-Z80721T	I		1955	35	(FZ) 80-721
FCX-Z80723T	I		2155	38	(FZ) 80-723
FCX-Z80816T	I	685	1455	32	(FZ) 80-816
FCX-Z80819T	I		1755	36	(FZ) 80-819
FCX-Z80821T	I		1955	39	(FZ) 80-821
FCX-Z80823T	I		2155	42	(FZ) 80-823
FCX-Z801016T	I	885	1455	38	(FZ) 80-1016
FCX-Z801019T	I		1755	43	(FZ) 80-1019
FCX-Z801021T	II		1955	53	(FZ) 80-1021
FCX-Z801023T	II		2155	59	(FZ) 80-1023
FCX-Z801216T	I	1085	1455	43	(FZ) 80-1216
FCX-Z801219T	II		1755	55	(FZ) 80-1219
FCX-Z801221T	II		1955	61	(FZ) 80-1221
FCX-Z801223T	II		2155	67	(FZ) 80-1223

■取付方法 (鉄製基板最後部取付例)



■取付方法



(1) 基板金具セットの作製 (A~D)

基板金具⑤⑥をシステムレールAF1④に取付けて作製してください。システムレールAF1のフック位置、基板金具の種類・向き、取付ボルト・ナットの向きにご注意ください。

また、基板金具の取付位置を変更することにより鉄製基板の取付位置が25mmピッチで前後方向に変更できます。

(2) 基板レールセットの作製 (E)

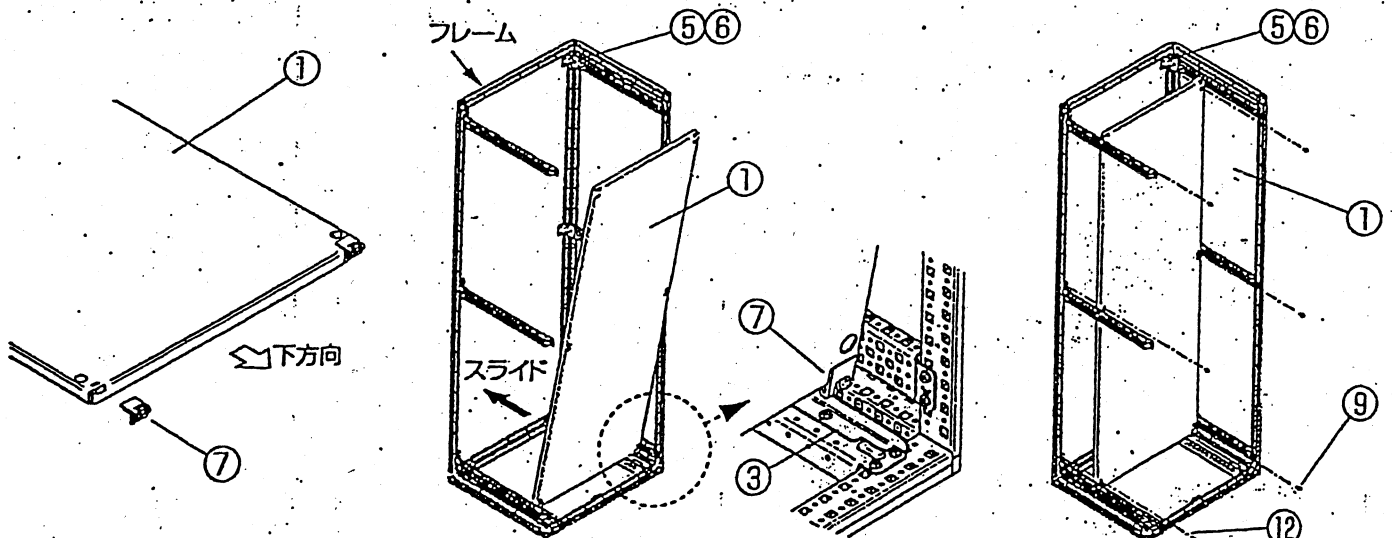
基板レール⑦をスライドレールD⑧に取付けて作製してください。スライドレールDの角穴部側でねじ止めしてください。

(3) 基板金具セットの取付

(1)の基板金具セットA~Dをフレーム左右の指定位置に取付けてください。システムレールAF1のフックをフレームの角穴に引掛けてからねじ止めしてください。

(4) 基板レールセットの取付

(2)の基板レールセットEをフレーム下部の指定位置に左右対称に取付けてください。基板レールの曲げ部が外側となります。



(5) 鉄ベースガイドの取付

鉄製基板⑩の下部両サイドに鉄ベースガイド⑪を差し込んで取付けてください。取付時に固い場合がありますが、しっかり奥まで差し込み抜け落ちないことを確かめてください。

(6) 鉄製基板の挿入

鉄製基板⑩の下部を先にフレーム内へ入れます。左右の鉄ベースガイド⑪の溝部を基板レール④の曲げ部にのせ、スライドさせながら基板金具⑤⑥の位置まで移動させてください。また、けが防止のため一人で作業を行わないでください。

(7) 鉄製基板の固定

鉄製基板⑩を基板金具⑤⑥に3点セムス六角ボルト⑫で6ヶ所固定してください。

導通を必要とする場合は任意の1ヶ所で絶付座金⑬を挟んで固定してください。

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。この取扱説明書の内容は2013年9月現在のものです。

NITTO 日東工業株式会社
©NITTO KOGYO CORPORATION

お客様相談室 / 愛知県愛知郡長久手町壱原2201番地
TEL (0561) 64-0152
http://www.nitto.co.jp